

『東京登別げんきかい』と『札幌のぼりべつ会』にはさまざまな職種や年齢層の方が参加し、『ふるさと』の良さや未来について語り合うとともに、『ふるさと』である登別市を応援しています。

『ふるさと』は離れていても、心のよりどころとなる特別な存在ではないでしょうか。

また、『ふるさと』が活力あるまちになるため、遠くに住む人と地元に住む人が一体となって、まちづくりを進めることが大切なのではないでしょうか。

○『東京登別げんきかい』『札幌のぼりべつ会』では、会員を募集しています。

皆さんのご家族やお知り合いの方が東京圏もしくは札幌圏にいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

また、市のホームページにも両会の情報が掲載されていますのでご覧ください。なお、札幌のぼりべつ会では年会費として、個人2千円、企業1万円をいただいております。

○入会についての問い合わせ

◆東京登別げんきかい事務局

〒359-0042

埼玉県所沢市並木7-1-10-401

事務局長 宮高 隆

☎・FAX 04-2998-3433

Eメール：tng_ot_498-1911@amail.plala.or.jp

◆札幌のぼりべつ会事務局

〒060-0004

札幌市中央区北4条西5丁目1

アスティ45ビル13階

(株)開発工営社

担当 総務部・長谷川裕詞

☎ 011-207-3666

FAX 011-218-5777

Eメール：hasegawa@kai-koei.co.jp

○登別市のふるさと会についての問い合わせ

企画グループ ☎ ⑮ 1 1 2 2

FAX ⑮ 1 1 0 8

Eメール：kikaku@city.noboribetsu.lg.jp

ホームページ <http://www.city.noboribetsu.lg.jp>

東京登別げんきかい
設立20周年を迎えて

東京登別げんきかい
会長 竹村勝彦さん



昨年の11月8日(土)、『東京登別げんきかい』は設立20周年総会・懇親会を、過去最高の130人が参加し、盛大に開催することができました。

小笠原新市長からいただいたご挨拶の若さ溢れるまちづくりの決意に期待が持てました。

また、新市長を支える地元の若手経済人が多数参加され、新しい時代の到来に頼もしさを感じさせてくれました。

今回20周年を記念して、故郷への記念植樹と記念誌の発行を行いました。記念誌の編集打ち合わせをしながら、ここまで会が続いて来たのは、役員のご郷登別への熱い思い、東洋一の登別温泉の誇りがあったからだと思いました。

これからは、『東京登別げんきかい』にそれぞれの分野で活躍している若手の会員を増やして、地元登別市の若手リーダーとの交流を深めることを目的に付け加えたいものです。現在のげんきかい会員は約500名です。

いろいろな思いや夢や志を持って上京した先輩・同僚・後輩が、一年に一、二度、旧交を温め合い、「げんきかい？」と励まし合えるのは素晴らしいことだと思っています。

札幌のぼりべつ会も
がんばっています。

札幌のぼりべつ会
会長 宮高憲一さん



登別市は昨年8月に、全道で二番目に若く、バイタリティに溢れ、迅速な行動を信条とする小笠原市長が就任され、新たな歩みがスタートをしました。

時を同じくして、札幌のぼりべつ会も設立以来、初めて役員改選が行われ、新たな布陣がスタートしました。

時代の変革スピードは、予想以上に早く、『良き伝統と慣習は守りつつ、幅広い視野と新たな視点での行動』が求められています。

札幌のぼりべつ会も12年を経て、会員も会社を引退する方が増えてきており、休眠会員に対して出席を促すことと、若手、女性会員の加入促進が課題となっています。

また、先輩団体である『東京登別げんきかい』との交流を含めた『札幌～登別～東京』のトライアングル・ネットワークのパイプを太く、たくましくすることも必要です。

そこで『会員相互が楽しみながらふるさとを応援する』ために、少しでも魅力のある企画と運営を、これから新役員とともに相談し、計画してまいります。

新役員の一覧は市のホームページに掲載されておりますので、ご参照下さい。ホームページアドレス (<http://www.city.noboribetsu.lg.jp/plan/s-genki/sapporotte.htm>)